



市民クラブ
ひろ 石 議員
たて いし やす ひろ 立 石 泰 議 員



治水問題

問 台風15号で浸水被害が発生した松橋川、蟹田川、秋田川、敷地川、沖之川、宇刈川などの河川改修事業の前倒しが必要では。

答 松橋川の河川改修などの「かわプロگرام事業」においては、財源の確保に努め、可能な限り事業を前倒ししたい。

問 柳原ポンプ場の整備方針では、工事着手は令和6年。昨今の気象状況を見るにつけ、一日も早い事業の前倒しが必要では。

答 一日も早くポンプ場の供用開始ができるよう、高南治水対策特別委員会と協議を重ね、可能な限り事業を前倒ししたい。



柳原排水機場

問 市南部地区では、三沢川を含む并財天川水系の注視が重要。県の事業だか、中新田昭和水管の早期の耐震化工事が必要では。

答 台風の大規模化で高潮が発生しやすくなっている。期成同盟会において、県に対し引き続き耐震化を強く要望していく。

FMラジオ放送局の開局

問 県内に現在、コミュニティFM放送

局が、12局開局しているが、本市のFM放送局の開局についての考え方は。

答 本市が事業主体となつて開局することや、民間事業者の財政支援を行うことは考えていない。現在、市内の民間団体により、開局に向けた動きがあることから、民営の独立採算による事業を期待したい。

問 本市は、臨時災害FM放送局が開設できるよう機材を購入しているが、有事に機能するか心配。実地訓練が十分にされておらず、マニュアルも検討段階。こうした問題に対する対策は。

答 次回以降の防災訓練時に、臨時災害放送を実施していきたい。その際、どの時期にどの情報を放送するか事前に検討し、訓練の中でできるよう対応したい。

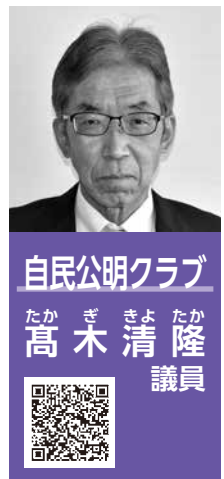
自治会による要望制度、補助制度

問 令和3年度は、自治会要望約2千件のうち約30%が次年度実施検討となっている。その多くが、生活道路や側溝、排水路の整備など、生活に密着した要望。維持管理、道路河川関連の予算の増額が必要では。

答 自治会要望に対する予算の確保については、限られた予算の中で、それぞれ担当課において、内容を確認し、その優先順位や緊急度などを確認して対応している。

その他の質問事項

- ・ 令和5年度の予算編成方針について
- ・ 可燃ごみ削減プロジェクトについて



自民公明クラブ
たか ぎ 清 議員
たか ぎ 高 木 議 員



令和5年度予算編成方針を受けて

問 国・県との信頼関係の構築が必要では。

答 社会情勢の変化やこれに伴う多様な行政需要に的確に対応し、円滑な市政運営を図るためには、国や県の支援は必要不可欠である。これまでの市政で培われた、国や県との信頼関係のもと、職員間の人事交流を積極的にを行い、情報収集に取り組みとともに、あらゆるネットワークを活かしながら、より実効性のある要望活動となるよう、日頃からの人脈づくりに鋭意努めていく。

地域交流型社会の実現に向けて

問 地域の知恵比べの時代に向け、行政が果たす役割は。

答 今後のまちづくりにおいては、地域内外の多様な主体との関わりを増やす「関係人口の創出」に向けた取り組みを強化する。また、現在、推進している「共創のまちづくり」をさらに進化させていくことで、このまちの豊かさや暮らし良さを主体的に創り出すとする市民や事業者とともに、新たな価値が創出される「ふくろいならび」の「官民共創プラットフォーム」を築いていく。

健やかに育つ教育環境の整備に向けて

問 部活動の地域移行に向けた課題は何か。

答 学校外で部活動を行う必要があり、受け皿や実際に指導する指導者の確保が、何よりも大きな課題であると捉えている。加えて、受益者として係る費用の応分の負担について、保護者に理解していただく必要があるとともに、学校施設などの利用や運営に係る行政の支援のほか、経済的に困窮する世帯への支援について検討する必要がある。さらには、これらに対応するための財源の確保も大きな課題である。

その他の質問事項

- ・ 健康長寿に向け、安心してスポーツを楽しむまちづくりに向けて
- ・ 快適で魅力あるまちづくりに向けて
- ・ 地域を支える地域産業の活性化に向けて
- ・ 安心・安全に暮らせるまちに向けて
- ・ 市民がいいきと暮らせるまちに向けて



海プロフェスタ
“ワクワク”創出イベント